



## 【戦評シート】

平成23年8月9日(火)	協会名： 秋田県 バasketボール協会						
場 所： 琴丘総合体育館 (Aコート)	記入者： 山崎淳一 相場堅祐						
チームA 信 陵 (福島1位)	60 { <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>12-14</td></tr> <tr><td>12-12</td></tr> <tr><td>16-3</td></tr> <tr><td>20-19</td></tr> </table> }	12-14	12-12	16-3	20-19	チームB 東北学院 (宮城2位)	48
12-14							
12-12							
16-3							
20-19							

スターター	チームA： #4, #5, #6, #7, #8
	チームB： #4, #5, #7, #10, #14
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )
	チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )

第1ピリオド、両チームハーフコートマンツーマンでスタートする。信陵は#8佐伯、#6菅野の3Pシュート、#5大塚らのインサイドで得点するが、東北学院も#10庄司や#7岩渕らのインサイドや3Pシュートで対抗する。東北学院は1-2-1-1のゾーンプレスで相手のミスを誘って流れを引き寄せようとするが信陵も譲らず、信陵12-14東北学院で第1ピリオドを終了する。

第2ピリオド立ち上がり、信陵は連続6得点で逆転して一時4点差とする。東北学院はメンバーを交代しながら攻守にわたりよく走りチャンスを作るものの、決め手に欠き3分間得点することができない。中盤以降、東北学院は#6佃や#12布田の3Pシュートなどで逆転し、24-26の2点リードで前半終了。

第3ピリオド、東北学院は粘り強いディフェンスでチャンスを作ろうとするが、信陵は効果的なドライブや速いパス回しから得点を重ねる。東北学院はオフェンスリバウンドやルーズボールにも素早く反応してボールを保持するが決め手に欠き、なかなか得点することができない。対する信陵は、相手のファウルから得たフリースローを沈めてじりじりと点差を広げ、信陵40-29東北学院の11点リードで第3ピリオドを終える。

第4ピリオド、追う展開の東北学院はオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけてボールを奪い、#5勅使川原のドライブやジャンプシュート、#12布田の3Pで加点するが、信陵は#5大塚のインサイドを中心に得点を重ねてリードを保つ。選手交代しながら豊富な運動量で追いすがる東北学院であったが、最後は高さに勝る信陵が60-48で勝利した。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。